

第五回飯館村放射能エコロジー研究会シンポジウム in 福島 2014 年秋

原発災害と生物・人・地域社会への 影響と補償・生活再建の途を探る

共同世話人 今中哲二、糸長浩司、小澤祥司

日時：2014年12月7日（日）11：00～17：10

場所：福島県青少年会館大研修室（収容人数200名程度）

参加者：一般市民、研究者

参加費：無料

お申込：当日受付可、Web 事前登録歓迎 <http://iitate-sora.net>

3.11 以前の飯館村内溪谷



小宮の仮置き場・右奥はうつくしま百名山の一つ野手上山



除染が進む佐須地区 山林は手つかずで 除染面積はわずか



2013年11月 IISORA 福島シンポ



仮置き場の黒いフレコンバッグの一部は雑草に覆われ



鳥獣保護区」を切り開き 山砂をとる 緑の山が無残



蔵平コミュニティセンター

主催：飯館村放射能エコロジー研究会

共催：NPO 法人エコロジー・アーキスケーブ

協力団体：飯館村後方支援チーム、京都大学原子炉実験所原子力安全研究グループ、原子力資料情報室、
(50音順) 原発事故被害者相双の会、国際環境 NGO FoE ジャパン、市民エネルギー研究所、
日本大学生物資源科学部糸長研究室、BIOCITY、ふえみん婦人民主クラブ、
福島から祝島へ〜こども保養プロジェクトの会、福島の子どもたちとともに・湘南の会、
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター家田研究室

お問い合わせ / IISORA 福島シンポジウム事務局 tel : 090-6601-6786 email : sympo@iitate-sora.net

公益財団法人大和証券福祉財団 平成 26 年度「第 4 回災害時ボランティア活動助成」を活用

プログラム

<開会あいさつ> 11:00 - 11:05

<第1部>放射能の生物・生態影響

.....座長：小澤祥司

11:10 - 12:30

- 汚染地域におけるヤマトシジミの異常率の推移 (2011-2013).....琉球大学 大瀧丈二
- 放射線汚染地域のため池に棲むコイの健康状態.....元東京大学 鈴木讓
- 放射線被曝によるサルへの影響.....日本獣医生命科学大学 羽山伸一
- 質疑応答

昼食休憩 12:30 - 13:30

<第2部>放射能汚染の実態解明と除染

.....座長：國學院大學 菅井益郎

13:30 - 14:20

- 飯館村農林地の汚染と飯館・浪江・山木屋の住宅内の放射能汚染の実態（除染後の評価）
.....日本大学 糸長浩司
- 飯館村や浪江町赤宇木での放射能汚染調査の報告.....京都大学 今中哲二
- 質疑応答

休憩 14:20 - 14:30

<第3部>補償と生活再建の道を考える

.....座長：糸長浩司

14:30 - 17:10

- 飯館村民の避難生活と生活再建意向.....浦上健司（EAS）+ 糸長研究室
- 補償と生活再建への思い
.....長谷川健一（飯館村民）
.....杉下初男（飯館村民）
.....市澤秀耕（飯館村民）
.....國分富夫（原発事故被害者相双の会）
- 原発事故におけるADRの意味と展望.....（保田行雄 弁護士）
- 討論 16:30 - 17:10

○福島県青少年会館

〒960-8153 福島県福島市黒岩字田部屋 53 番 5 号

